

# 特定社会保険労務士 しおざわ労働法務事務所 月刊 人事労務トピックス

発行者：しおざわ労働法務事務所  
所在地：359-0038埼玉県所沢市北秋津542-14  
電話：04-2992-5113  
FAX：050-3588-4582  
メール：info@shiozawatoshiya.com

## 【3月の主な人事労務情報】

法定事務は特にありません。

## 23年度の雇用保険料率は据え置き（厚労省）

### 雇用保険

厚労省は2/10、平成23年度の雇用保険料率を告示しました。表のとおり、料率は22年度のまま据え置きとなり、実務上の変更はありません。

| 区分           | 雇用保険率：平成23年度 |            |         |
|--------------|--------------|------------|---------|
|              | 保険率          | 負担割合       |         |
|              |              | 事業主        | 被保険者    |
| 一般の事業        | 15.5/1,000   | 9.5/1,000  | 6/1,000 |
| 農林水産・清酒製造の事業 | 17.5/1,000   | 10.5/1,000 | 7/1,000 |
| 建設の事業        | 18.5/1,000   | 11.5/1,000 | 7/1,000 |

## 2011年度の賃金動向に関する企業の意識調査（帝国データバンク）賃金動向

政府の家計支援策があいついで縮小・終了予定となるなか、雇用確保と賃金改善の動向が注目されています。また、今後の景気動向・個人消費の動向を探るうえでも、賃金動向に関心が集まっています。

帝国データバンクは2/3、標題の調査結果を発表しました。概要は下記のとおりです。（プレスリリース参照記事）

### ①2011年度の賃金改善、「ある」と見込む企業は37.5%で2年連続増加

賃金改善が「ある」企業は37.5%と、2010年度見込み（31.8%）を5.7ポイント上回る。厳しいながらも2年連続で改善する見込み。一方、「ない」（見込み）と回答した企業も同35.8%（3,942社）に達している。

### ②具体的内容、ベア31.2%、賞与（一時金）21.0%がともに2年連続で上昇

賃金改善の具体的内容は、ベア、賞与（一時金）ともに2年連続で上昇。成果主義の導入などにより賞与（一時金）が先行して改善。

### ③賃金改善の理由、「労働力の定着・確保」が最多、「業績拡大」も5割超に

賃金改善をする理由は「労働力の定着・確保」が56.2%で最多。「自社の業績拡大」も50.5%に。一方、改善しない理由は「自社の業績低迷」が7割超。

### ④労働条件に関する方針決定、賃金への割合高まり、雇用との両面で決定

労働条件の焦点は「賃金および雇用」が33.6%で最多になるも、「賃金」が大幅増、「雇用」が大幅減となり、賃金と雇用との両面を考慮する形に。

### ⑤2011年度の個人消費、半数近くが「横ばい」を見込む、縮小懸念は大幅減

2011年度の個人消費は46.4%が「横ばい」、39.9%が「縮小」の見込みで縮小懸念は2年連続で大幅に減少。ただ「拡大」は依然5.3%にとどまる。

参照：[http://www.tdb.co.jp/report/watching/press/keiki\\_w1101.html](http://www.tdb.co.jp/report/watching/press/keiki_w1101.html)

## アルバイト、パートの「働く理由」「仕事探しの重視点」意識調査（インテリジェンス）人材確保

㈱インテリジェンスが運営する求人情報サービス「an」は2/8、標題の調査結果を発表しました。

調査結果からは、「学生」「フリーター」「主婦」という属性ごとの求職動機や重視点が明らかとなりました。調査報告では、「採用したい属性に合わせた募集内容を検討する」など、戦略的な採用計画の必要性について言及しています。

①学生…アルバイトを社会進出・自己成長の場として捉える傾向がある。希望勤務日数や学業などの事情に柔軟に対応する一方で、得られるスキルなど魅力となる項目をしつかり伝えることが重要。

②フリーター…週5日勤務の傾向が高く、正社員志向を持つ人も多いため、就業環境の説明や、正社員登用などのステップアップの道を示すことも効果的。

※主婦…（特に言及されていませんが）働く理由として「生活費を補いたい」「貯金を増やしたい」「時間を有効に使いたい」といった項目、重視する点では「勤務地が自宅から近い」といった項目の割合が高く、家庭との両立を念頭においた職探し特徴的とのことです。

参照：<http://www.inte.co.jp/corporate/library/survey/data/20110208.pdf>

（塩澤）